

PRESS RELEASE

「攻殻機動隊」全アニメシリーズを横断する史上初の大規模展

ゴースト アンド ザ シェル

『攻殻機動隊展 Ghost and the Shell』

2026 年 1 月 30 日（金）～4 月 5 日（日）

虎ノ門ヒルズ「TOKYO NODE」にて開催決定！

-2026 年放映予定の新作アニメーション関連作品も展示予定 -



攻殻機動隊展
GHOST AND THE SHELL
Ghost in the Shell: The Exhibition

史上初 全アニメシリーズ
横断展覧会

GHOST IN THE SHELL | INNOCENCE
STAND ALONE COMPLEX & 2ND GIG & SOLID STATE SOCIETY
ARISE & THE NEW MOVIE | SAC_2045 | THE GHOST IN THE SHELL

26.01.30 **FRI**
→ 04.05 **SUN**

TOKYONODE
虎ノ門ヒルズ



森ビル株式会社（東京都港区、代表取締役社長：辻 慎吾）は、攻殻機動隊展 Ghost and the Shell 製作委員会（株式会社講談社、森ビル株式会社、KDDI 株式会社、株式会社プロダクション・アイジー、株式会社パルコ）の一員として、2026 年 1 月 30 日（金）から 4 月 5 日（日）までの期間、虎ノ門ヒルズの情報発信拠点「TOKYO NODE（東京ノード）」にて、『攻殻機動隊展 Ghost and the Shell』を開催します。

本展は、1989 年の士郎正宗氏による原作を起点に、1995 年公開の劇場版『GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊』以降、歴代作品のアニメーション制作を担当してきた Production I.G と、2026 年放送予定の新作アニメを担当するサイエンス SARU の全面協力のもと、アニメシリーズの全作品を網羅し、30 年にわたる『攻殻機動隊』の歴史を横断的に体験できるシリーズ史上初の大規模展覧会です。

押井守監督、神山健治監督、黄瀬和哉監督、荒牧伸志監督ら歴代監督陣が手がけた各作品に加え、2026 年放映予定のサイエンス SARU が手掛ける新作アニメに関連する作品も展示予定。各作品の持つ独自のテーマや世界観を比較しながら鑑賞することができます。

さらに、会期中は展覧会限定のオリジナルグッズも多数販売予定。ここでしか手に入らない特別なアイテムもぜひお楽しみください。また、本展は海外巡回も予定されていますので、世界へと広がる「攻殻機動隊」の今後の新たな展開にも注目です。（※続報は順次お知らせいたします）

アニメ、テクノロジー、アートが融合するかつてないスケールの展覧会、その全貌をご期待ください。

【本展の見どころ】

●全シリーズの源泉を巡る - 未公開資料を含む 600 点以上のアーカイブを公開 -

「攻殻機動隊」シリーズ全体制作過程で生まれた膨大な原画、設定資料、絵コンテなど、未公開資料を含む 600 点以上の貴重な資料を公開いたします。数々のアーカイブや本展が初公開となる監督毎のインタビューを通じて各シリーズの源泉を見比べながら体感できる構成になっており、制作現場のリアリティにも触れることができます。ファンならずとも魅了される「攻殻機動隊」の創造の現場を体験できる貴重な場を提供いたします。

●情報の深層から、未来を掘り起こす - 全身で体感する体験型展示 -

TOKYO NODE ならではの没入型インスタレーション、インタラクティブな体験型展示を展開予定。また、各監督の視点からシリーズのストーリーを読み解く貴重なインタビュー映像も上映され、これまで知らなかった「攻殻機動隊」の新たな視点に出会うことができます。中でも注目なのが、鑑賞者自身が「攻殻機動隊」の世界観と膨大な情報量の中へアクセスし、未来のヒントを掘り起こしていく“DIG る（ディグル）”展示。シリーズの世界観に深く入り込みながら、思考と感覚を使って読み解く唯一無二の展示となります。

●「過去と現在」が交差する場所 - 「人間とは何か？」を再定義 -

本展は、単なる観賞にとどまらず、それぞれの展示体験を通じて、「攻殻機動隊」が問いかけてきた未来の姿と、現実世界の変化とを重ね合わせ、鑑賞者一人ひとりが「自分の攻殻機動隊」に出会う場となることを目指しています。

さらに、「攻殻機動隊」が一貫して問い続けてきた「人間とは何か？」という普遍的な問いを、AI や BMI（ブレイン・マシン・インターフェイス）など現代の先端技術の視点から再考しています。「GHOST」と「SHELL」の関係を紐解き、鑑賞者が「過去と現在」を行き来しながら、自らの存在を見つめ直す機会をお届けします。

●「攻殻機動隊」もう一つの視点 - 世界中の創造者たちとの共創作品 -

会期中には、「攻殻機動隊」に影響を受け、国内外で活躍する現代アーティストやクリエイターとの共創によるインスタレーション展示も展開予定。「攻殻機動隊」が世界中の表現者たちに与えてきた影響力とその多様性を体感できる貴重な機会となります。

●オリジナルグッズはもちろん、横断展ならではのオリジナルショップも

本展ならではのオリジナルグッズはもちろん、横断展だからこそ実現できるオリジナルショップを展開。ここでしか味わえない特別なショッピングもお楽しみいただけます。

【押井守監督 コメント】

ゴーストとシェル。その関係はゴーストの中にシェルがある、それが「Ghost in the Shell」だと思う。ゴーストは人に限らず、人形にも植物にも宿る。何か調和のとれた、穏やかなもの。囁いてくるもの、風のように。

この系列作品の共通点は、未来的なビジョンである。原作漫画の世界観に基づき、各々の監督が作品を描いてきたが、どれも士郎正宗のポリシーを一歩も離れていない。離れられないのだ。だからこそ全てスピンオフとも言え、それがこの作品の良さでもある。

その展覧会が横断的というからには、サブカルとして順不同な入口があるべきだと思う。アニメはもちろん、原作漫画も実写も含めて視野に入れてほしい。それでこそ初めて横断的展覧会になる、と私は思う。

【本展プロモーションムービー】

URL : <https://youtu.be/fao8K6XAl7w>

【攻殻機動隊とは】

1989年に漫画家・士郎正宗が、青年誌「ヤングマガジン」の増刊「ヤングマガジン海賊版」第5号から連載を開始したSF作品。电脑戦や格闘などで優れた能力を持つ全身義体（サイボーグ）の草薙素子。階級「少佐」の彼女をリーダーとした攻性の部隊「攻殻機動隊」が、高度複雑化する凶悪犯罪に立ち向かう姿を描いた物語である。リアルで精密な描き込みとともに、サイバーパンク的な要素や哲学的なテーマを探究しながら、人間とテクノロジーの融合、個人のアイデンティティなどについて深く考察していて多くのクリエイターたちに影響を与えた。その後1995年に押井守が監督を務めた劇場アニメーション『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』、2002年に神山健治が監督を務めたテレビアニメーション『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』、2013年に黄瀬和哉が総監督を務めた劇場アニメーション『攻殻機動隊 ARISE』、2017年にハリウッド版実写映画『ゴースト・イン・ザ・シェル』、2020年に神山健治、荒牧伸志のダブル監督で制作された配信アニメーション『攻殻機動隊 SAC_2045』が発表された。『攻殻機動隊』は劇場アニメーション、テレビアニメーション、ゲームなど様々な広がりを見せるが、それぞれ漫画とは違った独自の物語、解釈や表現で展開されている。

【会場・開催概要】

名称	攻殻機動隊展 Ghost and the Shell
会期	2026年1月30日（金）～4月5日（日）
会場	TOKYO NODE GALLERY A/B/C（虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 45F） 住所：東京都港区虎ノ門2-6-2
チケット情報	2025年秋頃発売予定
主催	攻殻機動隊展 Ghost and the Shell 製作委員会 株式会社講談社 森ビル株式会社 KDDI 株式会社 株式会社プロダクション・アイジー 株式会社パルコ

公式 HP	https://www.tokyonode.jp/sp/exhibition-ghostintheshell/
公式 SNS	< Instagram > https://www.instagram.com/ghostandtheshell/ < X > https://x.com/Gats_exhibition

【新作 TV アニメーションについて】

『攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL』



1989 年に「ヤングマガジン増刊 海賊版」（講談社）にて士郎正宗が原作コミックを発表して以来、押井守監督による『GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊』（1995 年）をはじめ、アニメーション、ハリウッド実写映画など様々な作品群を展開し、世界中に驚きと刺激を与え続けてきた「攻殻機動隊」シリーズ。

TV アニメ『攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL』は、監督に TV アニメ『ダンダダン』副監督などサイエンス SARU による数多くの作品での活躍が目覚ましく、本作が初監督となるモコちゃん。シリーズ構成・脚本に『Self-Reference ENGINE』などを手がける SF 小説家であり、TV アニメ『ゴジラ S.P<シンギュラポイント>』シリーズ構成・脚本なども手がけた円城塔。キャラクターデザイン・総作画監督に Netflix シリーズ『スコット・ピルグリム テイクス・オフ』、TV アニメ『スプリガン』などでキャラクターデザインなどを手がける半田修平が参加。

アニメーション制作はゴールデングローブ賞アニメ映画賞にノミネートされた映画『犬王』や、上海国際映画祭 金爵賞アニメーション最優秀作品賞を受賞した映画『きみの色』、TV アニメ『ダンダダン』など国内外を問わず高い評価を得る作品をうみだし続けているサイエンス SARU による TV アニメ最新作となります。放送は 2026 年予定となります。

続報は「攻殻機動隊」公式グローバルサイトや公式 SNS などで順次公開予定となります。

作品名称：攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL

作品形式：TV アニメーション

原作：士郎正宗「攻殻機動隊」（講談社 KC デラックス刊）

監督：モコちゃん

シリーズ構成・脚本：円城 塔

キャラクターデザイン・総作画監督：半田修平

アニメーション制作：サイエンス SARU

公開時期：2026 年放送予定

『攻殻機動隊』公式グローバルサイト：

<https://theghostintheshell.jp>

©2026 Shirow Masamune/KODANSHA/THE GHOST IN THE SHELL COMMITTEE

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

攻殻機動隊展 PR 事務局(サニーサイドアップ内)

E-Mail：ghost_and_the_shell_pr@ssu.co.jp

担当：小野緋和子（080-4652-1882）、中村未来（080-7637-4594）、鈴木紫苑